

事業の背景・目的

・実績報告書（別紙9-3）を基に、事業の背景や目的、必要性、地域における生物多様性保全上の課題等を簡潔に記載（300文字以内）
事業を実施している飛鳥地域は、飛鳥時代に我が国の文化の中心として栄えた場所です。万葉の歴史的景観を今に伝えるということで、国の名勝や特別史跡、文化財等があり日本遺産にも登録されている。しかし、飛鳥地域の上流を流れる飛鳥川にはオオカワヂシャなどの外来種が繁茂している。また、ため池などではブラックバスやブルーギル、ミシシippアカミミガメが繁殖し、在来種の脅威となっている。そこで外来種の駆除及び外来種問題の普及啓発を実施する。

事業の内容

・実績報告書（別紙9-3）を基に、実施した事業結果の概要を簡潔に記載。事業が複数ある場合や、複数年度にわたる場合には、枠囲みを用いるとわかりやすい。

事業①外来種学習会事業

- ・橿原市の今井町で学習会を実施した。58名が参加し、外来種ハンドブックを持ってフィールドで実際に外来種の観察も実施した。
- ・橿原市昆虫館で学習会を実施した。17名が参加し、外来種ハンドブックを持ってフィールドで実際に外来種の観察も実施した。

事業②駆除事業

- ・高取町の薩摩にてオオキンケイギクの駆除を実施した。
- ・飛鳥川にてアレチウリとセイタカアワダチソウ、コセンダングサの駆除を実施した。
- ・高取町の西田池で池干しを実施し、ブルーギルとウシガエル、オオカナダモ等を駆除した。
- ・橿原市の今井町でウシガエルの駆除を実施した。
- ・飛鳥川でオオカワヂシャとオランダガラシの駆除を実施した。

得られた成果

・実績報告書（別紙9-3）を基に、事業の成果、活動継続の見通し、事業終了後の展開等を簡潔に記載（400文字以内）
飛鳥地域での啓発活動により少しずつ普及啓発が進んでいる。外来種駆除に関する関心もテレビなどの影響により高まっているため今後も継続して実施することで地域全体の意識を高めていきたい。
今後も活動は継続して行く予定で、毎年1か所以上の池干しを実施していきたい。外来種学習会も定期的にも実施し、出前授業なども活用しながら外来種問題の啓発を実施していく。また、補助により作成した外来種ハンドブックを活用し、飛鳥地域内で広く配布して啓発活動を実施する。